

## (2) ワークショップ実施結果

第6次相生市総合計画の改定及び、第2次相生市地域創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）を改定し、デジタル技術を活用した第3次相生市地域創生総合戦略を策定するにあたり、市民意向の反映及び市民参画を促進し、今後の方向性の検討に必要な意見を集約するために、関係団体に対してワークショップを実施しました。

### ① 二十歳のつどい実行委員会ワークショップ

- 実施日：令和6年 12月21日（土）
- 会場：扶桑電通なぎさホール 小ホール
- テーマ：10年後の最高の相生
- 参加者：二十歳のつどい実行委員会 8名

### ◇ワークショップの流れ

#### ① 総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



#### ② グループワーク

3人一班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の相生」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



#### ③ 発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

ワークショップを行った結果をみると、参加者の二十歳の住民は、相生市が活性化して欲しいとの思いから、10年後の理想像として、若年層にとって魅力的であり、交流・定住人口が増加した活気に満ちた市の姿をイメージしていました。具体的には、「飲食店・娯楽施設・商業施設が拡充されている」、「労働環境が改善している」、「交通利便性が向上している」等が挙げられており、これらの実現に向けた課題は「若年人口の確保」であると考えていることが分かりました。

### ・「飲食店・娯楽施設・商業施設の拡充」について

各班で共通して、飲食店・娯楽施設・商業施設の拡充を求める声が多く挙がりました。特に、深夜営業している店舗やチェーン店の出店が望まれており、仕事終わり等に気軽に友人と集まれる施設が求められていることが分かりました。

### ・「労働環境の改善」

雇用の創出や賃金水準の向上を見込み、大企業・有名企業の誘致が望まれていました。また、社会人1~2年目の市民に対する補助を望む声もありました。

### ・「交通利便性の向上」

各班で「電車の本数の増加」が挙げられており、鉄道利用について不便を感じていることがわかりました。また、市外への通勤時に道路が混雑するため、道路を増やして欲しいといった意見もありました。

### ・課題：「若年人口の確保」

各班のキャッチコピーは、1班：「住み続けたい相生！」、2班：「＃自然界隈」、3班：「Many young come」となっており、いずれも、若年層の交流・定住人口が増加した、活気のある10年後の相生市をイメージしたものとなっています。

1班は、相生市で生まれた人が末永く住み続けて欲しいという思いから、まず、若者の人口の流出を抑えるため、ハード（大学の設置・就職先の充実）・ソフト両面（若い政治家の輩出・若者の意見を言える場の創出）での環境の整備が必要であると考えていました。

2班は、何をするにも人が集まる場所にならないと始まらないという事で、どの様に人を集めるかを考えれば、若者はTikTok等のSNSで観光地の情報収集することから、相生市の強みである自然を前面に押し出してSNSを使って広報することが大切となりました。

3班は、「若者の企業」、「SNS活動」が必要であるとし、夜カフェなどの飲食店を若者が開業することで若者が集まり、SNSによる情報発信で、より多くの若者に相生市を知ってもらい、美味しい給食や綺麗な学校を維持することで子育て世帯へ魅力あるまちを発信し、若者が集まりやすい環境づくりや定住者の増加につなげる必要があると考えていました。

## 《1班》

# キャッチコピー：～住み続けたい相生！～

## —10年後の相生市—

### 施設

- ・ショッピングモールがある
- ・徒歩圏にコンビニができています
- ・バスケットコートがある
- ・緑がある公園ができています
- ・深夜営業の店ができています
- ・チェーン店のカラオケ屋ができています
- ・スポッチャができています
- ・ゲームセンターができています
- ・飲食店ができています
- ・チェーンのラーメン屋ができています
- ・駅前が栄えている

### 交通

- ・電車の本数が増えている
- ・ガソリン価格が下がっている
- ・中核都市等への道が増えている

### 子育て

- ・育休、有休が取りやすくなっている
- ・子供が増えている
- ・子育て支援が増えている

### 労働

- ・有名な企業の工場が多くできている
- ・就職先が充実している
- ・扶養控除が拡充されている
- ・賃金が上がっている
- ・女性の機会均等

### その他

- ・ペーロン等の様々なイベントが開催されている
- ・若い政治家の輩出
- ・若者の意見を言える場の創出



## 10年後の姿を実現するためには

- ・大学の設置、就職先の充実
- ・若い政治家の輩出、若者の意見を言える場の創出

## 《2班》

# キャッチコピー：～#自然界隈～

## —10年後の相生市—

### 産業

- ・ドームアリーナができています
- ・芸能（大手）事務所ができています
- ・大企業ができています
- ・スタバができています
- ・古民家カフェができています
- ・コンビニが増えています

### 観光

- ・うまいかをもっと売り出している
- ・アウトレットができています
- ・海水浴場を開設している
- ・グランピング施設ができています
- ・大きなテーマパークができています

### 公共

- ・交通機関タダになっている
- ・5分に1本電車がくる
- ・医療費無料になっている
- ・消費税が無くなっている

### 自然

- ・観光スポット（自然系）がある
- ・海がきれいになる

### 教育

- ・きれいで大きな図書館がある
- ・こどもたちがいっぱい
- ・スタディスペースがある

### その他

- ・毎月推しに会える！
- ・働かずに暮らせる
- ・一生好きな時間に起きられる

### 生活

- ・矢野に高層マンションができています

### 福祉

- ・高齢者向けの娯楽施設ができています



## 10年後の姿を実現するためには

- ・観光に力を入れることが大事
- ・自然
- ・若い人をSNSで集める（TikTok, Instagram）

## 《3班》

# キャッチコピー：～Many young come～

## —10年後の相生市—

### 飲食

- ・スタバができています
- ・ジョイフルができています
- ・焼肉キングができています
- ・24時間開いているお店が増えています
- ・コストコができています
- ・ボーリングができています
- ・魚べいができています
- ・夜カフェができています

### 交通

- ・電車の本数が増えている

### 学校

- ・給食メニューが改善されている

### お金

- ・年金がある
- ・最低賃金UP!している

### 施設建て替え

- ・市民病院が改築されている
- ・双中が新しくなっている
- ・双中1年のトイレが広がっている

### 補助

- ・社会人1～2年目補助が手厚くなっている
- ・おむつが無料配布されている
- ・シングルマザーへの支援が充実している

### 値下げ

- ・税金が下がっている
- ・ガソリンが安くなっている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・若者の起業
- ・SNS活動

總論

基本構想

基本計画

第3次相生市地域創生総合戦略

資料編

## ② 子育て世代ワークショップ

- 実施日：令和7年 3月25日（火）
- 会場：子育て学習センター
- テーマ：10年後の最高の子育て環境
- 参加者：子育て学習センター利用者 14名

### ◇ワークショップの流れ

#### ① 総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



#### ② グループワーク

2班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の子育て環境」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



#### ③ 発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

ワークショップを行った結果をみると、参加者の子育て学習センター利用者は、「10年後の最高の子育て環境」について共通する要素を挙げていましたが、重要視する要素や視点の違いから、各班で異なったイメージを形成していました。1班は、買い物環境の向上や、子育て支援の更なる充実等、利便性が向上した未来の子育て環境をイメージしている一方、2班は安全安心で気兼ねしない未来の子育て環境をイメージしていました。

### ・1班のイメージ

1班のキャッチコピーは「子育て世代が住みやすいキレイな相生」となっています。キャッチコピーの素となった要素のなかで、イメージが多かった項目は、「買い物」、「保育関係」、「医療費・病院」です。「買い物」については、「1軒で用事が済むようなショッピングモール」や、「大きいスーパー」、「ドライブスルーで少しだけの買い物が済ませる所」ができていいる等、買い物利便性が向上しているイメージを持っています。

「保育関係」については、「3歳児の預かり保育が出来ている」、「兄弟で同じ保育園に入れる」、「保育園子ども園の増設」等、子育て支援が更に拡充しているイメージを持っています

「医療費・病院」については、「親子でみてくれる小児科ができていいる」、「出産費がタダになっていいる」等、医療費の負担が減り、医療施設も今より充実しているイメージを持っています。

以上は、「大型商業施設の誘致」、「子育て世代が使いやすい医療施設」、「教育環境の改善」、「医療費（高額）の助成」といった課題に繋がっています。

### ・2班のイメージ

2班のキャッチコピーは「子どもと家族が安心して楽しめる相生市」となっています。キャッチコピーの素となった要素のなかでイメージが多かったのは、「遊び場」に関係する事柄です。

「安全・見守り」との関係で、土日、お父さんが休みの時に代わりに連れていけるような安心して遊べる施設が増えているというイメージが出てきました。

「イベント」との関連で、遊び場でのイベントが増え、子どもが参加できるイベント、毎週末子どもメインのイベントが開催されているイメージが出てきました。

「店舗」との関連では、キッズスペース等があり、子どもが大きな声を出しても親が気を使わなくてよい店舗や、オムツ替えや授乳に気を使わなくてもよい環境の店舗が増えているイメージが出てきました。

そのほか、学習環境や保育園に対するイメージも多く挙がりました。

以上は、「いつでも（雨天・土日祝）安心して遊べる場所」、「親子で行けるお店」、「気兼ねなく子育てできる（設備・気持ち（オムツ替え）」といった課題に繋がっています。

## 《1班》

# キャッチコピー：子育て世代が住みやすいキレイな相生

## —10年後の相生市—

### 買い物

- ・回転寿司ができています
- ・ファミレスができています
- ・ウーバーイーツが利用できています
- ・ジャスコができています
- ・ショッピングモールができています
- ・大きいスーパー（イオンモール・コストコ系）ができています
- ・ドライブスルーのあるお店ができています

### 保育関係

- ・必ず、兄弟が同じ保育園に通っている
- ・待機児童ゼロになっている
- ・女性が働きやすいように保育園・こども園が増えている
- ・3歳児の預かり保育ができています

### 医療費

- ・高額医療費もタダになっている
- ・出産費がタダになっている

### 病院

- ・皮膚科ができています
- ・小児科がもっとできています
- ・親子でみてくれる小児科ができています
- ・夜間救急ができています

### 習い事

- ・塾代、習い事の補助金ができています
- ・習い事の送迎支援ができています

### 公園

- ・近所にキレイな公園ができています
- ・オムツ台のある公園トイレが完備されている
- ・公園のトイレが清潔になっている
- ・駐車場のある公園ができています
- ・乳児が遊べる公園ができています（囲いのあるブランコやグラウンドの人工芝等）

### 応援券

- ・応援券の使える所が増えている（オムツなど）
- ・オムツ・ミルクなどのクーポン券ができています（相生市どこでも使える）

### 家

- ・空き家が減って更地になっている
- ・宅地にするための助成金ができています

### 自転車

- ・自転車の助成金ができています
- ・自転車の道が整備されている

## 《1 班》

### —10 年後の相生市—

#### その他

- ・ 土日も遊べる場所ができています
- ・ 屋内遊び場ができています
- ・ モールや広場にオムツや子どもご飯（離乳食）の販売機が設置されている
- ・ 市民体育館にごみ捨て場が増えている
- ・ 廃品回収がなくなり、各自で持ち込める回収場ができています
- ・ ペーロンの年長さんパレードがなくなっている
- ・ 中高生が遊べる所ができています（ゲームセンター・カラオケ等）



### 10 年後の姿を実現するためには

- ・ **世代ごとの意見の場の不足**
- ・ **教育環境の改善**
- ・ **事業計画の詳細の公表→実現する！させる！**
- ・ **大型商業施設の誘致**
- ・ **相生市内でお金を消費できるシステム作り**
- ・ **子育て世代が使いやすい医療施設**
- ・ **医療費（高額）の助成**
- ・ **宅地（若い世代の定住化促進）**

## 《2 班》

# キャッチコピー：子どもと家族が安心して楽しめる相生市

## — 10 年後の相生市 —

### 育休

- ・ 育休制度が充実している（一律3年取れる）
- ・ 母が子育てしながら社会に出やすい環境になっている
- ・ 育休が取りやすい環境になっている
- ・ 3才までは家で子どもと過ごせている

### 習い事

- ・ いろんな習い事がある
- ・ 習い事ができる場所が増えている

### 一時保育

- ・ 一時保育が利用しやすくなっている

### イベント

- ・ 毎週末、子供メインのイベントがある
- ・ 子ども参加型のイベントがたくさんある
- ・ 市内でも楽しめるイベントがある

### 学校・学習

- ・ 先生が大変じゃないけど、充実した部活がある
- ・ 少人数でもいろんな経験ができる学校になっている
- ・ 学習できる場所がある

### 病院

- ・ ママの病院へ子ども同伴がOKとなっている
- ・ 病児保育で預けられるところができている

### 店舗

- ・ 気軽に立ち寄れるC a f eなどができている
- ・ ママ友がしゃべり合える場がある
- ・ 子どもと食事をしやすいお店がたくさんできている

### 遊び場

- ・ ララポートのよう授乳室がきれいな施設が増えている
- ・ 遊ぶ所がたくさんできている
- ・ 絵本がたくさんある生活になっている
- ・ きれいな水遊び場ができている
- ・ すべり台やブランコなど、低年齢用のものが増えている
- ・ 天気が悪いときでも遊べる所ができている

### 保育園

- ・ 希望の保育園に入ることができる
- ・ 保育園・幼稚園が無償化になっている

## 《2班》

### —10年後の相生市—

#### 安全・見守り

- ・安全対策ができています（散歩中川沿いのガードレールをくぐりそうでこわい）
- ・一人で子育てに苦しむ人が減っている
- ・周囲が見守ってくれている

#### その他

- ・バランスのとれた献立を誰かが考えてくれている
- ・大学の学費が安い or 奨学金が使いやすくなっている
- ・100円バスができています
- ・物価が下がっている



### 10年後の姿を実現するためには

- ・いつでも（雨天・土日祝）安心して遊べる場所
- ・親子で行けるお店
- ・気兼ねなく子育てできる（設備・気持ち（オムツ替え））

### ③ 商工会議所ワークショップ

- 実施日：令和7年4月1日（火）
- 会場：総合福祉会館
- テーマ：10年後の最高の商い環境
- 参加者：商工会議所会員 11名

#### ◇ワークショップの流れ

##### ①総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



##### ②グループワーク

3班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の商い環境」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



##### ③発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

各班のキャッチコピーは、1班：「個性集まるまち」、2班：「眠らない街 Aioi」、3班：「相生を楽しむ～ゆりかごから墓場まで～」となっており、参加者の商工会議所会員は、雇用の増進で企業が増え、交流・定住人口が増え、活気がある相生市の姿を、10年後の最高の商い環境としてイメージしていました。雇用増進に向けての出発点は各班で異なっており、1班は起業家、企業、労働者に対する環境の整備、2班は企業誘致、3班は観光の活性化となっていました。

### ・1班のイメージ

1班は、小学校から子どもにビジネス教育をするカリキュラムを確立する等の独自の教育環境の整備により、子育て世代を呼び込み、教育の結果、起業の活発化により雇用が創出されているイメージを持っていました。

また、企業にとっては拠点を設置しやすいまちであり、労働者にとっては、働き方の選択肢が多く誰もが担い手になれるまちとして環境が整備されているイメージを持っていました。

上記から、「多様な働き方が出来る環境 → 実現できる教育と後押ししてくれる行政」の実現を課題として捉えていました。

### ・2班のイメージ

2班は、ビジネスを軸として相生市に人が集まり活性化しているイメージを持っていました。企業誘致による雇用の確保から定住促進による人口増加をイメージしていました。さらに、人口の増加に伴う種々のニーズの受け皿として、商業・娯楽施設が充実し、仕事と子育ての両立ができる環境となっているイメージを持っていました。

上記から、「企業誘致」、「子育てしやすい環境作り」が課題であると考えていました。

### ・3班のイメージ

3班は、スポーツ等のイベント等を多く開催することで観光客が増え、商業が活性化しているイメージを持っていました。また、多くのイベント開催に耐えられるように、施設、交通環境が整備されることで、雇用が増え、相乗効果でさらに商業が賑わうイメージを持っていました。

さらには、小学校の頃から地元が好きになるような教育を実施することで、地元出身の商売人が増え、商業規模の拡大により発生したニーズを満たしているイメージがありました。

そのために、まずは「市民が相生市を好きになる」ことや、「魅力のある仕事」を課題として挙げていました。

## 《1班》

# キャッチコピー：個性集まるまち

## —10年後の相生市—

### 人口

- ・人口が増加している

### 働き方

- ・市役所職員も含め、空き時間での副業が可能になっている。

### インフラ

- ・市内全域でネットワーク利用が可能になっている
- ・病院ができています
- ・公共施設を格安で使えている（ビジネスコンテスト）

### 雇用

- ・誰もが担い手になれている
- ・高齢者に優しい町になっている
- ・大企業が来ている

### 教育

- ・子供に学校でビジネスを教えている
- ・株式投資の教育をしている
- ・フリースクールで一般人が講師をしている

### 観光

- ・相生～家島ラインが復活している
- ・観光、インバウンドができています
- ・水族館（テーマパーク）ができています

### 魅力創出

- ・農福・漁福・猟福連携ができています
- ・市内の食（食品）は市内で消費されている
- ・大型店舗やチェーン店が無い町となっている
- ・新たな特産ができています
- ・有名人が相生市からでている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・多様な働き方が出来る環境

→ 実現できる教育と後押ししてくれる行政

## 《2班》

# キャッチコピー：眠らない街 Aioi

## —10年後の相生市—

### 雇用

- ・人材不足（パート・アルバイト含む）が解消されている
- ・元気に働け、子育てと両立できている

### 娯楽

- ・大型ショッピングモールができている
- ・カラオケBOXができている
- ・イベントが開催されている

### 貿易

- ・相生港から貿易ができている

### 観光

- ・海辺や古い街並みを活かした観光スポットができている
- ・バイカーが集まる街になっている
- ・宇宙旅行・ロケットができている
- ・相生の特産品ができそれを拡大できている
- ・カキ以外のB級グルメで集客できている

### ビジネス

- ・大企業が多数来ている
- ・若い経営者が増えて、産業が活性化している
- ・区画整理をして家を建てられる土地が増えている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・子育てしやすい環境作り
- ・企業誘致

## 《3班》

# 相生を楽しむ キャッチコピー： ～ゆりかごから墓場まで～

## — 10年後の相生市 —

### 教育

- ・塾のいない相生市になっている
- ・外国人により外国語レッスンができて  
いる

### 交通

- ・新幹線のぞみが止まるようになって  
いる

### 商業

- ・個人商店が元気になっている
- ・市外ではなく、市内でお店を開きた  
いと思う環境になっている
- ・Iターン・Uターンをしたい街にな  
っている
- ・「アレがあるから相生に行こう、行  
きたい」となっている
- ・人気店を期間限定で呼ぶことができ  
ている

### 施設環境

- ・市民体育館に冷暖房が完備されて  
いる
- ・2号線沿いが活性化されている
- ・海沿いにサウナ施設ができてい  
る
- ・子供たちの遊び場が増えている
- ・スポーツ施設が整っている
- ・ドッグランを作って犬と人が住み  
やすい相生になっている
- ・イベントができる場所（箱）がで  
きている

### イベント

- ・スポーツイベントでの観光客が増加  
している
- ・若い人が集まるイベントのお店がで  
きている
- ・マルシェイベントが増えている
- ・フェスが開催されている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・市民が相生を好きになる
- ・魅力のある仕事